

経済センサス

活動調査

「あなたの回答で、日本の未来が見える。」

調査への回答をお願いします！

5月下旬から
始まるよ！



経済センサスとは、事業所および企業の経済活動の状態を明らかにすることを目的とした統計調査です。その調査結果は、国や地方公共団体における行政施策の立案や、民間企業における経営計画の策定など、社会経済の発展を支える基礎資料として広く活用されています。皆さんのご協力をお願いします。

【調査対象】

全ての事業所と企業(個人経営の農・林・漁業など一部の事業所を除く)

【調査項目】

主な事業の内容や、売上・費用、設備投資などの経理項目

【調査方法】

5月下旬から、調査員が対象となる事業所や企業を訪問して調査票を配布します。調査への回答

は、紙の調査票で提出するほか、インターネットでの回答も可能です(調査基準日は6月1日)。

【その他】

▽調査員が聞き取った内容や調査票に記入した内容は、統計作成の目的以外(税の資料など)に使用することはありません。

▽調査員は、その身分を証明する「経済センサス活動調査 調査員証」と「従事者用腕章」を携帯しています。

▽新型コロナウイルス感染拡大防止のため、調査書類の配布や受け取りは、事業所の皆さんと調査員ができる限り接触しないよう配慮します。



【問い合わせ】

総務課総務法制担当(☎282-1711 内線1312)

「保育」という おしごと

— 保育者からのメッセージ —



子どもたちの「やってみたい」を応援し、「見守ること」を大切に保育を続けます。

子どもたちは遊びの天才です。けやきの木の丘も、子どもたちの手に掛ければ変幻自在。丘の上がステージになり、下の観客席に向けて元気な声を届けたり、タイヤを斜面に並べてアスレチックを作ったり…。これらは子どもたちの「やってみたい」という気持ちの原動力となって生まれています。私はこれからも子どもたちの「やってみたい」を応援し「見守ること」を大切にしながら保育を続けていきたいと思っています。

照沼香里 副主任保育士

保育の仕事に就いて十数年。私が保育をする上で大切にしていることの一つに「見守ること」があります。子ども自身が考えたり、挑戦したりする姿を、一歩引いて見守り、心の中で応援。どうしても大人の援助が必要そうな時にはさりげなくサポートできるように心掛けています。子どもが夢中になって遊んでいる時、その頭と心、体はドキドキわくわくであふれています。そんな子どもたちが遊びから学んでいる貴重な時間を大切にしたいと思っています。

結果はいまいち…。大丈夫かな？次はどうするのか？と見守っていると、一人が「夏にやったウォータースライダーみたいにブルーシートを敷いてみたい？」とひらめきました。「それいいね！取りに行こう！」と、子どもたちの心と体がまた動き出します。ブルーシートを広げていると、興味を持った友だちが「手伝う？」と声を掛け、力を貸してくれました。子ども同士でやり取りをしながら、みんな力を合わせて、無事に完成することができました。そしていざ滑ってみると「滑ったあー」と大成功。キラキラした表情で大喜びするみんなの姿に、私も喜びと感動を覚えました。こんなすてきな瞬間に出会えるのも「見守ること」の魅力だと感じています。